

## 協定留学近況報告書

記入日	2022年 10月 24日
留学先大学	南ユタ大学
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): ホテル・リゾート・ホスピタリティマネジメント, (現地言語での名称): Hotel, Resort & Hospitality Management <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他: *一応学部には所属してはいますが、その他の学部の授業も履修しています。
留学期間	2022年8月ー2022年5月
明治大学での所属	国際日本学部 国際日本学科
学年(出発時本学での学年)	学部 2年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

留学先の気候や食文化、宗教についてインターネットで調べたり、You tube で留学生の vlog などを視聴したりして留学のイメージを膨らませました。英語能力について心配していましたが、特にリスニングを強化しておくべきだったと感じています。洋画や洋楽を聴くだけでなく、シャドーイングするなどして日常的な会話やスラングについて理解を深めておくと、現地学生との会話にもすぐに適応できると思います。その他の面としては、歯医者に行くこと、コンタクトや眼鏡の度を確認しておくこと、コロナワクチンの接種証明書を手にしておくことなどが大切かと思えます。

### II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: J1	申請先: 東京米国大使館
ビザ取得所要日数: 2 週間程 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: \$ 160(+SEVIS 登録費)

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

DS2019(留学先大学から郵送された)、パスポート、SEVIS 費用の支払い証明、証明写真(デジタルと紙)

具体的な申し込み手順を教えてください。

米国ビザ申請サイトからアカウントを作成して、オンラインビザ申請書を作成(1 時間ほどかかる)→ビザの申請料金・SEVIS 費用を支払う→面接の予約(アメリカ大使館の You Tube チャンネルが詳しい手順を紹介しているので、古めの動画ではありますが参考にすると良いと思います。)

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

1. 留学期間 2. 何年生か 3. 学費負担型で留学先の大学から学費の補助が出るため、その確認、の 3 点だけでした。学生に対しての質問は簡単なものなので緊張しすぎなくて大丈夫です。

ビザ取得に関して困った点・注意点

建物内に持ち込めるもの、逆に持っていかなければならないものなどが少々複雑なので、面接の前にネットで体験談などを読んでから臨むと焦らず落ち着いて行動できると思います。

### II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送など)

携帯電話のSIM解除は 2 週間ほど前にネット上で行いました。南ユタはアメリカSIMを入学許可証などと共に郵送してくれたため、自分でSIMを購入する必要はありませんでした。事前に登録と、プランの決定や費用の支払いは済ませて置き、現地についたら SIM を入れ替えるだけで済むように準備を済ませておきました。飛行機の中で入れ替え、アクティベートさせました。現金は空港で 7 万円ほど両替して持ってきました。

### Ⅲ. 現地到着後のながれ

#### 1. 到着時の様子

利用航空会社	United 航空				
航空券手配方法	オンライン ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	Harry Reid International Airport	現地到着時刻	13 時頃		
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配 の迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 ( <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	17 時間程				

#### 空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

大学のホームページから事前の予約が必要でした。大学のシャトルバスなので料金はかかりませんでした。

大学到着日	8 月 24 日 23 時半頃
-------	-----------------

#### 2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 8 月 29 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他( )	
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> その他(キッチンと洗濯機のみ自分含め 7 人で共有しています)	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他(6 人中 1 人は留学生で、その他は現地の学生です)	
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input checked="" type="checkbox"/> その他(大学から不動産のウェブサイトが送られてきて、その中から自分で選び申し込みました)	
住居の申込み手順	ウェブサイトから管理会社にメールを送り、契約しました。	

#### 住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

渡航前に見つかりましたが、大学側が不動産に関するの情報を送ってきた時点で多くの物件は既に埋まっていたので焦りました。また、日本でいうマイナンバーのアメリカ版を持っていないので、渡航前に全家賃を支払う必要がありました。

#### 3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	8 月 25・26 日
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額: )
内容の様子は？	アメリカの法律や大学のルール、留学生が直面するであろう困難とその対処法、大学の Wi-fi への接続などについての説明を受けました。円卓に 10 人ずつくらいで座って自己紹介をしたり、ちょっとしたゲームを行ったりして留学生同士のつながりを深めることができました。また、ISA という明治大学で言う GJSSC のような留学生のサポートをしてくれる生徒たちとも仲良くなることができ、本当に様々なことを助けてもらいました。
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	8 月 31 日から

#### IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

##### 1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

到着後に旅レジの登録をするだけで特に滞在許可等の申請は必要ありませんでした。

##### 2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

授業が始まって少し経ったくらいに、ツベルクリンの検査をしました。検査自体は 5 分ほどで終わる簡単なもので、指定された日時にしっかりと受ければ料金はかかりません。最初のオリエンテーションの際に日程が知らされ、キャンパス内で検査を受けました。

##### 3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

開設しました。パスポートと住んでいる住居情報が載った書類、初めに口座に入れる分の現金(最低 25 ドル)を持参して銀行に行き、手続きを行いました。友達とアプリを通じて割り勘をすることが結構あるので、口座を開設するのをおすすめします。

##### 4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

アメリカ SIM に差し替えただけで携帯電話は購入していません。

#### V. 履修科目と授業について

##### 1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(3 月 29 日頃)

オンラインで登録  志願書類に記入して登録  できなかった  その他( )

到着後に( 月 日頃)

オンラインで登録  国際オフィス等の仲介  できなかった  その他( )

登録時に留学生として優先されることは

あった  なかった

優先が「あつた」方はどのように優先されましたか？

南ユタ大学の方で、自分が提出した希望する授業の中から履修を勝手に組んでくれました。そのため定員オーバーなどの心配はありませんでした。

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

授業開始から 2 週間程度、変更できる期間があるのでそこで履修を取り消すことはできると思いますが、追加できるかはわかりません。(定員割れしていたらできる気がします)



VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00	起床	起床	起床	起床	起床	↓	土曜日と同じ
8:00	準備	準備	準備	準備	準備	↓	
9:00	授業	授業	授業	授業	授業	↓	
10:00	課題	↓	課題	↓	課題	起床	
11:00	授業	↓	授業	↓	授業	昼食	
12:00	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	友達と会う、 買い物、家事	
13:00	授業	勉強・友達と遊ぶ	授業	勉強・友達と遊ぶ	授業	↓	
14:00	勉強・友達と遊ぶ	↓	勉強・友達と遊ぶ	↓	勉強・友達と遊ぶ	↓	
15:00	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
16:00	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
17:00	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	
19:00	ジム	ジム	ジム	ジム	ジム	↓	
20:00	帰宅か図書館に戻って勉強	帰宅か図書館に戻って勉強	帰宅か図書館に戻って勉強	帰宅か図書館に戻って勉強	帰宅か図書館に戻って勉強	帰宅	
21:00	↓	↓	↓	↓	↓	自由時間	
22:00	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
23:00	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	↓	
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	



## Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

私が留学している南ユタ大学は、ユタ州南部のシーダーシティにあります。本当に田舎で、車が無いと行動範囲がとても狭まりますが、友人などの助けを借りて色々な場所へ行くことができます。大学が中心の町ということもあり、町の人々はとても優しく、見ず知らずの人でも挨拶したり、微笑み合ったりする光景は日常茶飯事で、平和です。

授業は教授によって課題の量も授業スピードも異なるため、一口にこうだ、とは言えませんが、どの教授も親切な方ばかりなので質問などはしやすいです。ただ、エッセイが毎週あるクラス、30分以上のグループプレゼンテーションがあるクラス、クイズが毎週あるクラスなど、種類は様々ですが基本的に課題の量はとても多いと感じています。自分の中では、授業が終わってから数時間友達と図書館で勉強するのが当たり前になっています。友達と一緒にいるので、辛いときもあるけど結局なんだかんだ楽しく過ごせていますし、大きな課題をやり遂げたときの達成感はすごいです。課題が多いことでより深く学べているとも思います。

住居に関してですが、私は洗濯機とキッチンのみ共有のアパートで暮らしています。ルームメイトとそこまで深く関わりがあるわけではありませんが、夕食を一緒に作ったり、誕生日をお祝いしたり、良好な関係を築けていると思います。一つ言うとすれば、モルモン教徒が大半を占めている州のため、現地の学生はほとんど協会に通っており、たまに協会や宗教関連のイベントに誘われることがあります。しっかりと断れば理解してくれるので、そこまで大きな問題ではないですし、多くの人が親切心にあふれていてとても優しいです。

宗教に関連して、日曜日はみんな教会に行くため、開いているお店は少ないです。ただ、スーパーマーケットやチェーン店などは問題なく開いています。

最後に食について書きたいと思います。まず、アジアマーケットはありますが品ぞろえはとても悪く、普通のスーパーのアジアンフードコーナーの方が充実しています。米やカップラーメン、ごま油などの調味料は手に入れることができ、自分は友達と炊飯器を共同で購入して自炊の割合を増やそうと奮闘しているところです。内陸部のためか、海鮮系はあまり売っておらず、売っていても高いです。

留学が始まって2か月ほど経過し、生活リズムがやっと安定してきました。ショッピングモールなどの商業施設がないので、友達と遊ぶとなるとハイキングに行ったり、ピクニックをしたり、一緒に料理をしたり、ということがほとんどですが、日本では経験できないこと尽くしなのでとても充実した毎日を過ごすことができます。数日の休みがあれば、ラスベガスにもバスで行くことができます。シーダーシティの人々はとても優しく、たくさん助けてもらいながらこの2か月を過ごしました。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

まず、留学に来てよかったと心から感じています。もちろん鬼のように課題があるし、人間関係で悩むこともあるし、自分の英語力の無さにもどかしくなることもあるなど楽しいだけの毎日ではありませんが、日本で学んできたことが無駄ではなかったと感じたとき、すごく嬉しく、達成感に包まれます。授業についていけるか、友達はできるのかなど出発前は不安が絶えませんが、何のためにここに来たのか、将来どんな自分になりたいのか考えると一歩踏み出せる気がします。留学に行く人は、TOEFLEなどのために少なからず勉強をするかと思いますが、日本でやってきた努力が留学初期は本当に自分の力になるので、あれだけ準備したのだからきっと大丈夫だ、と胸を張って言えるくらい頑張ってみてください。留学前は、普段の大学生活に加えての英語の勉強や、様々な手続き、申し込みなどで大変だと思いますが、強い意志と目標があれば乗り越えることができると思います。そして留学先に出発した後も、初心を忘れないでください。実際に異国の地に来ると、孤独でしんどいと感じることもたくさんあるかと思いますが、そんなときに部屋に閉じこもったり、日本人の友だちとばかり過ごしたりしては、留学に来た意味がなくなってしまいます。偉そうに書いている私も、今年度は日本人留学生がたくさんいることもあって、日本語ばかり話してしまう日があります。言語がスムーズに通じるというのはとてもストレスフリーですが、自分の英語力向上にはつながりません。また、想像以上に現地の学生と仲良くなることは難しいです。ついアジアの留学生と固まってしまうがちだからです。ネイティブの話す速度は段違いですし、そのスピードの会話に入っていくことや、速度についていけず聞き返すことは想像以上にきつく、メンタルがやられます。しかし、勇気を出して仲良くなった先には、全く違った世界が待っています。一緒にテスト勉強をしたり、ハイキングに行ったり、こんなに考え方違うのかとたくさん刺激を受けることができ、自分自身の価値が高まる気がします。たとえ時には居心地の悪い時があっても、たった一学期間・一学年間の留学なので、日本では経験できないことをたくさん経験すべきだと感じています。自分自身も、残りの留学期間でもっと多様な交友網を広げていけるように頑張ります。お互いに頑張りましょう。応援しています。

